

ゼロからはじめる 稼ぐ農業

必ず知っておきたいこと**100**

◎ 著 高津佐和宏／寺坂祐一／潮田武彦

監修 農業始めたい人の学校

はじめに

農業ってどうなんだろう？

この本を手にとっていただいたということは、あなたは、少なからず「農業」に興味があるということでしょう。

将来、農業を一つの選択肢として考えている。もしかしたら、すでに農業を始めるために動き出している人や農業を始めることが決定している人もいるかも知れません。

さて、農業を始めたいと思いつたとしても、何から始めればいいのか？ そもそも、何を作るの？ どうやって売るのが？ 農地はどうやって手に入れるの？

思った以上に農業の世界はブラックボックスです。表面的な情報は、テレビやSNSで手に入るかもしれませんが。しかし、農業を始めるための具体的かつ本質的な情報を手に入れ、自分に合ったものを取捨選択するのは非常に困難です。

そして、はたして自分は農業でやっていけるのか？ きちんと生活できるだけ稼ぐこと

ができるのか？　そもそも、農家は儲からないと言われてきているのに、借金して農業を始め
て大丈夫なのか？　そんな不安も頭に浮かんでくるでしょう。

実際に、新規就農から10年以内で農業所得のみで生計を立てている人はわずか38・
1%、残りの61・9%は農業だけで生活が成り立っていないそうです（全国新規就農相談
センター『新規就農者の就農実態に関する調査結果』令和3年度）。

さらに、農林水産省が2024年11月に発表した『基本計画の策定に向けた検討の視
点』によると、2020年には108万の農業経営体がありました。2030年には54
万農業経営体まで半減すると予想しています。

既存の農家は恐ろしいほどのスピードで減少し、新規就農した人も農業だけで生活が成
り立たない人のほうが多いことを、これらのデータは表しています。

しかし、そんな状況でも農業をやりたいと志を持って飛び込んで来る人が一定数いま
す。そんな人たちに絶対に失敗してほしくないという思いから、私たちは2021年より
「農業始めたい人の学校」というオンラインスクールを始めました。

この本は、その「農業始めたい人の学校」の講師3人による共著です。

1人目は、北海道でメロンの直販農家を営む寺坂祐一。18歳の時に超赤字農家を継ぎ、一時はうつ状態となるも、ダイレクトマーケティングと出会ったことで農業人生が一変。通販と直販で右肩上がりの成長を遂げ、現在では年商1・8億円を突破しています。

2人目は、土作りのスペシャリストである潮田武彦。自身も農業をしながら、周辺の農家仲間に農業技術を教えてほしいと頼まれたことをきっかけに、全国の300軒の農家に農業技術を教える農業コンサルタントとしても活躍しています。

3人目は、農業経営コンサルタントとして活動する高津佐和宏。専業農家に生まれ、農業高校、大学農学部を卒業後、地元JAに入会。15年勤めた後に独立。業界最大級の有料オンライン勉強会を主宰し、自身のYouTubeチャンネルは登録者数1万人を突破しています。

さて、この本が他の農業本と違う点は3つあります。

1つ目は、現在も現場で活動中の3人が、それぞれの実体験に基づき、専門領域について執筆していること。農業と一口で言っても地域によっても様々、生産する品目も多種多様です。また、販売方法、経営規模、従業員の雇用形態など非常に幅広いのが農業です。それをたった一人で語り尽くせる人は、正直いないと思います。その点、この本は3人が

それぞれの専門領域、得意領域を分担して執筆しています。机上の空論ではなく、それぞれが経験したことを伝えていきます。

2つ目は、農業を始めるだけでなく、始めた後にどうやって軌道に乗せ、生活するため
の稼ぎ、農業を続けていくための稼ぎを得るかという視点に立っていること。

誤解を恐れずに言いますと、私たちは新規就農者を増やしたいとは思っていません。私
たちの思いは、農業を始めた後に失敗して不幸になる人を見たくないのです。そのために、
新規就農前に知っておくべきことだけをこの本に詰め込みました。

農業を始めることが目的ではなく、農業を通して幸せになっただけことを目的とし
ているからです。それを実現するためには、農業を継続するだけの稼ぎは必要です。お金
の問題から逃げれば、農業は継続できません。そのために「農業で稼ぐ」という視点は外
せないものなのです。

3つ目は、農業で失敗しないために、成功する農家の考え方に言及していること。

経営の知識や農業生産の栽培技術など、農業で成功するための要因は多くあります。し
かし、その根本にあるのは、農業をするあなたの考え方です。

農業で失敗してしまう人は失敗する考え方をしています。

成功する人は成功する考え方を持っています。

実際に「農業始めたい人の学校」の受講生からは、

「インターネットで検索しても情報が溢れており何が正解なのか分からなかったが、実際に成功している方からノウハウを学ぶことで迷いが格段に減った」

「経営準備から開始数年の数値の組み立て方、農業技術、販売方法など基本が盛りだくさんで、自分一人では得られなかったことを数多く学ぶことができた」

「1人の講師だけでなく、3人の講師から学べるため、一定の客観性が担保されており心強かった」

などの感想をいただいています。

「農業で失敗しないコツはなんですか？」と聞かれれば、「学ぶ人を間違えないこと」と答えます。

なぜなら、農業でうまくいっていない新規就農者に、「誰から農業を学んだのか」と聞く

と、その師匠が稼げていない農家であることが多いからです。稼げていない人から学んでも、稼げるはずがありません。しかし、最初はよくわからないから、その稼げていない農家のことを全面的に信じるしかありません。これで失敗する新規就農者の出来上がりです。逆に言えば、稼いでいる農家から成功のポイントやコツを聞けば、おのずと最大効率で稼げるようになるのです。この本にはそのノウハウを、たっぷり100個の項目に詰め込みました。

さあ、この本を読み終えて、稼ぐ農家のスタートラインに立ちましょー!!
稼げる農業の世界でお待ちしています。

2025年2月

寺坂 祐一

潮田 武彦

高津佐和宏



第1章 農業を始める前に知っておくべきこと

- | | | |
|-----|-------------------------|----|
| 01 | 農業で稼ぐということ | 18 |
| 02 | 会社員と農家はこんなに違う | 20 |
| 03 | 天候で計画が変わる | 24 |
| 04 | 収入のない期間がある | 28 |
| 05 | 確定申告をしないといけない | 32 |
| 06 | 社会保険も自分で
手続きしないとイケない | 34 |
| 07 | 就農までの歩み | 36 |
| 08 | 農業生産はどこで学ぶのか？ | 38 |
| 09 | 新規就農の相談先は？ | 40 |
| 10 | 農協・JAとは何か | 42 |
| 11 | 農業をするうえで
知っておくべき法律 | 44 |
| 12 | 作ったものの値段のつけ方 | 50 |
| 13 | 農業をやるうえで必要な業務 | 52 |
| 14 | 事業計画の作り方 | 56 |
| コラム | 農業の面積を表す単位について | 60 |



第2章 農業を始めるうえで必要なお金の知識

- 15** 農業を始めるにはいくら必要か？ 64
- 16** 当面の生活資金はいくら必要か？ 66
- 17** 農業に必要なお金ってどんなものがあるの？ 70
- 18** 経費とは？ 72
- 19** 補助金・助成金はもらえるの？ 74
- 20** 収入と所得は別 78
- 21** 減価償却費について 82
- 22** 農地は経費にならない 86
- 23** 請求書を出さないとお金はもらえない 88
- 24** 農業簿記を勉強してみよう 92
- 25** 借入について 96
- コラム** **26** 借入の返済について 98
- 27** 税金についての基礎知識 100
- 28** 消費税の免税事業者について 106
- 農業はシャドウワークが多い 102



第3章 農業を始める前に決めておくべきこと

- 29** 個人事業主か？ 法人化するか？ 110
- 30** 農業における雇用について 112
- 31** 農業における社会保険の役割 116
- 32** 雇用するなら労働保険に入ろう 118
- 33** どこで農業をするか？ 120
- 34** 何を作ったらいいのか？ 122
- 35** どこで売ればいいのか？ 124
- 36** 販売を促進するには 128
- 37** 誰が何をやるのか？ 130
- 38** 農業機械や施設は
どうやって準備するか？ 132
- 39** 各種手続きと
補助金・助成金について 134
- コラム**
- 40** 新規就農のために
準備しておくもの 136
- 41** どれくらいの売上を目指すか？ 140
- 42** 兼業で農業をする時の注意
商品を送送する時に
気をつけること 146



第4章 農業を始める場所を決める

43 農地の見つけ方 150

44 作りたい品目があつて農地を探す場合 152

45 どこに相談すればいいのか 156

46 良い農地は良い人間関係性からしか出てこない 158

47 儲かっている農家が多い地域は空気がない 160

48 土地がすぐ見つかる地域は儲からない地域かも 162

49 耕作放棄地を紹介されたら第三者承継という方法 164

コラム 畑と自宅の距離について 168



第5章 何を作ればいいのか品目を決める

51 自分の好みで作る品目を決めない 172

52 作りたい品目がある場合は？ 174

53 参入障壁を知ろう 176

54 差別化のメリットとデメリット 178

55 その地域でみんなが作っている品目と誰も作っていない品目 180



第 6 章 どこに売るかを決める

- 57** 多品目栽培は難易度が超高い 184
- 56** 販売方法も想定して
品目を決めよう 182
- 60** どんな売り先があるのか? 196
- 61** 農作物の販売面から見た特徴 198
- 62** 販売方法はトレードオフ 200
- 63** JA出荷と卸売市場出荷 202
- 64** JA出荷について 204
- 65** スーパーと直接取引できるのか? 206
- 66** 道の駅など直売所で売る 208
- 67** 自社直販の仕組み 210
- 68** 自社ECサイトと
産直ECサイトの違い 212
- 72** 入金されるまでが販売活動 214
- 71** リサーチ不足がほとんど 216
- 70** リピートが大事 218
- 69** ふるさと納税に
採用してもらうことはできるか? 220
- 73** 出荷規格について 222
- コラム** 廃棄処分を判断する時 225
- 58** 頼まれた農作物を作ろう 186
- 59** 情報収集の方法 190
- コラム** 借りる先・仕入れ先のポイント 192



第7章 農作物を作るうえで必要な基礎知識

- 74** 売るための農作物を作るとは、
どういうことか 228
- 75** 肥料の大量要素、微量元素
土作りの基礎 234 230
- 77** 土壌の物理性、化学性、
微生物多様性 240
- 78** 光合成について 242
- 79** 土壌の排水性と保水性 244
- 80** 根の基礎知識、土中の働き
農業における灌水の重要性 248 246
- 81** 適地適作が大切 250
- 83** 適期適作業・作業のタイミング
栽培記録・作業記録をつけよう 256 252
- 85** 病害虫の基礎知識 258
- 86** 農薬散布技術 262
- 87** 農業において
観察力を鍛える大切さ 266
- 88** 慣行農業と有機農業 268
- 89** メンター（師匠）を
見つけるのが最大の近道 270
- 90** 雑草管理を徹底する 272
- 92** 自然災害にあった時は
二毛作・二期作について 278 276
- コラム** 稼ぐ農家になった際に
付き合うべき人 280



第 8 章 農業で成功するための心構え

- 93** 親元就農のコツ 284
- 94** 経営者としての心構え 286
- 95** 農業は起業である 290
- 96** 1年目から黒字を出す 292
- 97** 「農業は儲からない」と言う人からは距離をおこう 294
- 98** 自己流は事故る 296
- 99** 6次産業化（加工品）は赤字まっしぐら 298
- 100** 地域との人間関係が成功の力ギ 302

おわりに

304

01

農業で稼ぐとどうなんよ

農業を志す理由は？

これから農業を始めたいという人に必ず聞く質問があります。それは、「なぜ農業をしようと思ったのですか？」というものです。

今この文章を読んでいるあなたもなぜ農業をしようと思ったのでしょうか？

農業を志す理由は人それぞれです。実家が農業経営をしていたからという人もいるでしょう。おじいちゃん、おばあちゃんの畑があるからとか、自然が好きだからとか、安全安心な野菜を自分で作って子供たちに食べさせたいとか……。農業を志す人の数だけその理由があります。

一方、私たちは生活していくためにお金を稼ぐ必要があります。そのために仕事を選んで働きます。「農業をやる」ということは、農業という仕事を選んで、生活の糧を農業で稼ぐということでもあります。

農業が続かない理由

農業を志し、農業を始めても、道半ばで農業を諦めないといけない人もいます。その理由は大きく2つです。1つは健康。もう1つ



は、お金です。

1つ目の健康は、例えば怪我や病気などで自分自身が働けなくなつて農業を続けることができないというもの。2つ目は、農業で稼げずに続けることができなくなることです。特に新規就農をして道半ばで農業を辞める人はお金の問題が多くを占めています。農業を辞めるまでではないが、生活が苦しい新規就農者、借金の返済で自転車操業の新規就農者は決して少なくないでしょう。

農業を志す理由は様々あつていいですが、ここで言いたいのは決してお金の問題から逃げてはいけないということ。農業を始めたあと農業を続けるためには、「**農業で稼ぐ**」ことが必要なのです。

農業で稼ぐために

「農業で稼ぐ」ためにはどうすればいいのでしょうか。その答えは、「**農業生産**」から逃げないことです。農業は製造業です。農作物をどうやって売るかに注力する人もいますが、その前に「良いものが作れるかどうか」が農業で稼げるか、稼げないかを大きく左右します。作れない人は、どんな売り方をしても稼げません。逆に、農業生産が上手な人は、よほど間違つた売り方をしない限り稼ぐことができます。

これから、経営や販売など農業経営に必要な知識をこの本で学んでいただきますが、農業における儲けの源泉は、「**農業生産**」にあることを忘れないでください。

補助金・助成金はもらえるの？

もらえるもの、使えるものは使おう

どんな補助金・助成金がある？

他産業で独立起業する場合と農業で独立起業する場合の大きな違いは、補助金・助成金があるということです。活用できるものは最大限に活用したいものです。しかし、注意点もあります。補助金・助成金をもらった結果、足枷になってしまわないようにすることです。

なお、補助金と助成金に違いはあるようですが、それらを出す側の区別になるので、その違いは気にしないで大丈夫です。

どんな補助金・助成金があるかを見ていきましょう。ただし、補助金・助成金は年によって変わる可能性がありますので、必ず関係するところに確認をするようにしてください。

まずは国が出す補助金・助成金があります。お金の出所は国ですが、その窓口は市町村になっていくことが多いです。次に、都道府県独自のもの、市町村独自のものがあります。これは、各都道府県、市町村に確認が必要です。それぞれの独自性によって、新規就



新規就農に役立つ補助金・助成金一覧

補助金・助成金名	主な要件	内容	最大交付額
農業次世代人材投資資金 (就農準備資金)	就農予定時に 49歳以下 前年の世帯所得 が600万円以下	就農に向けて研修期 間中の研修生に資金 を交付	年150万円 を最長2年間
農業次世代人材投資資金 (経営開始資金)	就農予定時に 49歳以下 前年の世帯所得 が600万円以下	新たに農業経営を開 始する者に資金を交 付	年150万円 を最長3年間
経営発展支援事業	49歳以下の認 定新規就農者	機械・施設等の導入 (購入) に対して支 援する	最大750万 円、補助率 は事業費の 3/4以内
青年等就農資金	認定新規就農者	無利子、実質無担 保、無保証人で最大 3,700万円の借入が 可能	無利子で借 入ができる
移住支援金	東京圏外に移住	地方移住者への支援 金 都道府県・市町村に よって内容は異なる	100万円
地域おこし協力隊	各自治体の委嘱 を受ける	活動経費(報酬)や 活動費(事業費)な どを自治体を通じて 支援する 地域おこし協力隊と して活動しながら農 業経営を目指す事例 も増えている	任期おおむ ね1~3年

出典：農林水産省『新規就農の促進』

地方創生サイト『移住支援金』

総務省『地域おこし協力隊～移住・地域活性化の仕事へのチャレンジを支援します!～』

※2025年2月現在の情報です。

※その他、都道府県、市町村独自の支援制度がある場合もあります。できるだけ早めに、農業を始めたい地域の都道府県や市町村の窓口にお問い合わせください。

農支援にどの程度、力を入れているかがわかります。

農業に関わるもの以外も、地方移住に関する補助金や助成金を受け取れる場合もあります。このあたりも都道府県や市町村によって異なりますので、必ず確認をしてください。

補助金・助成金にはタイミングがある

補助金・助成金を受け取るにはタイミングが大事です。国の補助金には、年齢制限を設けているものもあります。また、申請のタイミングもあり、そのタイミングを逃してしまうと次年度の申請ということもあります。

さらに、予算がありますので、申請金額がその予算を上回ってしまうと、補助金・助成金を受け取れない場合もあります。

新規就農者向けの補助金・助成金でしばしば問題になるのが、農業を始めるタイミングです。すでに農業を何らかの形でスタートしている、新規就農者ではないと見なされ、補助金の対象外になることもあります。この辺りは十分に注意が必要です。

タイミングを逃さないためにも、早め早めの行動と情報収集が必要です。さらに、補助金・助成金の情報は多岐にわたります。担当者もよく理解できていない場合もありますので、必要事項は必ずメモして、口頭だけでなく、書面で確認するほうがよいでしょう。

補助金の縛りと返還

補助金・助成金は、税金から、あなたにお金を渡すことになります。ですから、もらっ



た方はそれなりの責任があります。例えば、新規就農者向けの補助金・助成金をもらったうえで、農業を始めたけど、要件を満たさずに離農した場合は、もらった分の返済義務が生じる場合があります。

また、その使い道に縛りがある場合があります。例えば、トマトを作る予定で補助金をもらったとして、途中でイチゴ栽培に変更したくても、それはできないこともあります。もし変更するなら、補助金返済になることもあります。補助金・助成金をもらうなら、もらうための計画を作りますので、その計画通りに進める必要があるのです。

補助金ありきか、なしでもやるか

補助金・助成金の原資は、みんなが納めて

くれる税金です。それをいただく訳ですが、前述したように、補助金・助成金をもらう時は、もらうためのルールに則って農業を始める必要があります。

そこで大事なことは、補助金があれば農業はしないのか、補助金がなくても農業をするのかを自分自身で決めておくことです。

補助金ありきで農業をスタートするつもりなら、補助金の窓口である行政としっかりとスケジュールなどを詰めて農業をスタートさせる必要があります。「補助金・助成金はあつたらいいな」くらいでなくてもやるんだというつもりなら自分のやりたい形でやって、補助金をもらえたらラッキーくらいのつもりでいきましょう。